

学校法人 松樹学園

# 信州介護学校通信

第8号 平成27年12月発行

## 「介護の日 in 信州介護 2015」

ご来場ありがとうございました！ 教務主任 武井 浩子

「介護の日」は、「いい日いい日、毎日あったか介護をありがとう」を念頭に、介護について理解を深め、国民への啓発を重点的に実施するための日として、2008年に厚生労働省によって制定されました。本校では「介護は心～笑顔あふれる日々を～」をテーマとし、大門三番町・四番町の皆さんのご協力の下、学生が主体となり、アイデアを出し合っのイベント開催となりました。



パネル展示は、「介護予防～口腔機能向上～」をテーマに、日頃の学習の成果をまとめました。パネルは、学生が全員で作成し、発表会で内容を確認し合い、展示したものです。

介護食コーナーは、学生が調理した洋食風介護食の展示の他、キッセイ薬品工業様よりご協力いただいた介護食に一手間加え、美しくさらに美味しく提供させていただきました。

介護教室では、入浴の介助方法、転倒予防の体操、介護用品の展示や手浴を実施しました。転倒予防の体操は、ご来場の皆様と共に楽しく運動ができました。

恒例の豚汁サービスは、学生が一生懸命作った具沢山で美味しい豚汁を振る舞うことができ、身も心も温まっていたことができたとおもいます。

今年は、学生の考案でキッズスペースを設け、昔懐かしいおもちゃで遊んでいたいたり、校内各所に設置したキーワードを探すゲーム「ウォークラリー」を開催し、地域の皆様と楽しく交流することができました。

チャリティーバザーでは、地域の方、保護者の皆様、関連法人から多くの品を提供していただき、誠にありがとうございました。



地域の皆様に販売のご協力をいただき、32,550円の収益を上げることができました。収益金は、塩尻市社会福祉協議会を通して、地域活動等に役立てていただくことになりました。

介護の日イベントを通し、学生一人ひとりが役割を果たし、協力することを学ぶと共に地域の皆様との交流を図ることができました。

今後も、地域の中の学校として、皆様のお力を拝借しながら精進してまいります。



### 「介護は心」

1年 澤田 大地



私は、今年の介護の日イベントでパネル展示の制作を担当しました。

テーマが口腔機能向上なので、他の班と被らないように連携をとり、尚且つどのように工夫をすれば来場者の方々に見やすいパネルとなるのか試行錯誤を繰り返した結果、満足のいくパネルを作ることができ、達成感がありました。

当日は、来場者の方々に適切な説明を行うことができました。中には「普段から意識していないことからやる必要があるんだね。」と言ってくださる方がいて、この介護の日のイベントの重要性を改めて学んだ一日でした。



## 地域交流行事 「そば打ち交流会」

専任教員 芝田 由佳

11月26日(木)、塩尻地域シルバー人材センターの会員14名を本校にお迎えし、そば打ち体験を通して交流を行いました。

「地域の方々との交流の機会を増やしたい」という思いで昨年度から始まり、2回目の開催です。今年度も、NPO法人信州そばアカデミーの5名の名人の方から実演とご指導を頂きました。



シルバー人材センターの会員の方の平均年齢は78歳。学生との年齢差は50歳以上となります。元気で意欲的なシルバー人材センターの会員の方々に触発され、初めは緊張して身体が動かなかった学生も次第に打ち解けてきました。和気藹々とした時間が流れる中、隣では名人のご指導を受け、真剣な表情で取り組む学生もいました。

名人の打ったそばとは違い、学生のそばは太さがバラバラでしたが、打ち立てのそばの香りは濃厚で自分たちの手で作ったそばの味は格別なものでした。

そばを堪能したあとは、シルバー人材センターの会員の方と学生が3つのグループに分かれ、交流の場を持ちました。自己紹介から始まった交流会は、元気の秘訣や趣味、現在の仕事の内容など学生からの質問に丁寧に答えて頂きました。

また、学生に対しては、介護福祉士を目指す学生への期待や激励の言葉を多くいただき、さらに、若い世代との触れ合いを通して得るものが多くあったとの言葉も頂きました。学生にとって、元気で働く高齢者の方との交流は貴重な学びの時間となりました。



学生たちが地域の方々との交流を通して、コミュニケーション力を高めること、また、世代間交流を通して、相互理解を図るために向かい合う相手の思いに共感し寄り添う姿勢を身につけることができたらとの思いから、今後もこのような機会を持つことを続けていきたいと思えます。

地域の一員としての介護福祉士養成校の果たす役割にも目を向け、開かれた学校づくりに努めてまいります。本校へのご意見やご要望がありましたら、お聞かせ頂きたく、よろしくお願ひ申し上げます。

### 卒業生 (第6期生)

鳥屋窪 陽菜 様



私は今、上松町にある特別養護老人ホームに勤めています。

学生から社会人という立場になり、責任感の重要性が大切だと感じる毎日です。仕事をしていく中で、利用者様から感謝の言葉をいただいたりすると、やりがいのある仕事に就いて良かったと思います。これからも、頼っていただけるような介護福祉士を目指し、日々頑張っていきます。



### 保護者

中村 和敏 様

(2年 中村 彩 さん)



幼い頃からの介護福祉士になりたいという夢を叶えるために「接遇」教育を推進されているこの学校に入学しました。

一からの学習、何度かの実習を積み重ね、温かく見守りご指導して頂いた先生方や、励まし合い支え合って共に学んでくれたクラスメイトの皆さんのおかげで、この2年間で娘は確実にひと回り大きく成長出来た様です。感謝しております。



## 平成27年度 学校自己評価結果について

学校長 清水 祐三



本校では、「介護福祉士として必要な知識、技術を教授するとともに、人間尊重の精神と共感的態度の学びを通して心豊かな人間性を育て、地域社会に貢献できる専門的な人材を養成する。」ことを教育方針に掲げています。そこで私たち教職員は、この目標を実現するため学生と共に日々の研修と実践に努めてまいりました。

年の瀬を迎えた今、再び教育方針を振り返ってみますと、不十分な点や課題も多くありますが、学生一人ひとりがさまざまな学習や体験を通し、目標に向かって大きく成長している姿が見られ大変うれしく思っています。これも学生本人の努力はもちろん、保護者をはじめとする地域や施設等の関係の皆様方から、不断のご理解ご支援があつてのことと心よりお礼申し上げます。

さて、本校は学生の皆さんが心豊かな介護福祉士となるためのより良い教育を享受できるよう、その教育活動を検証し、学校運営の改善と発展をめざすため、①「教職員による自己評価」、②「学生による授業アンケート」、③「学生アンケート」、④「保護者アンケート」の4項目により学校評価を実施しています。これを基に、家庭や地域とさらなる連携を図り、開かれた学校づくりに活かしていきたいと考えています。その中で、①「教職員による自己評価」の結果は以下の通りです。

分野	評価値	分野	評価値
1 教育理念・目標・育成人材等	3.33 (3.47)	7 学生募集と受け入れ	3.45 (3.40)
2 学校運営	3.15 (3.04)	8 財務	2.88 (3.05)
3 教育活動	3.42 (3.29)	9 法令等の遵守	3.50 (3.32)
4 教育成果	3.00 (3.07)	10 社会貢献	3.63 (3.40)
5 学生支援	3.06 (2.93)	11 意見要望の把握及び活用	3.06 (3.00)
6 教育環境	3.58 (3.40)	全体平均評価	3.28 (3.22)

※ ( )内は26年度数値

以上のように、11分野全50項目の平均が4段階評価で、3.28(前年度3.22)となっており、全体評価及びいくつかの分野でアップが見られます。一方で財務分野での評価値が2点台に下がっています。その要因として、本校に限らず全国的に介護や福祉系専門校への入学生が減ってきていることにあります。そこでまず学生には、本校の学びによって心豊かな介護福祉士として着実に成長している姿を知らせていきます。その自信と誇りは、将来社会に積極的に参画する力となり、介護分野を目指す方達の裾野の広がりへと期待できるからです。

なお、その他のアンケートでは、満足度(よくあてはまる、まあまああてはまる)として、②「授業アンケート」が62.7%(昨年度59.0%)、③「学生アンケート」が78.5%(昨年度81.9%)、④「保護者アンケート」が88.9%(昨年度90.5%)であり、③と④はやや下がりましたが、おおむね良好であると考えています。

今後さらに評価結果を分析し、改善すべき課題を明確にして、皆様の満足度が一層アップできますよう真摯に取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。



来る平成28年が、夢や希望、そして幸多き年となりますようご祈念申し上げます。



玄蕃まつり

7月25日、塩尻玄蕃まつりに1年生が参加しました。



5月からTシャツの作成、台車の装飾などの担当に分かれ、それぞれ役割をもって準備してきました。

踊りは練習を重ねましたが、はじめはなかなか揃わず…しかし、後半は気持ちも揃ってきました。



賞は逃しましたが、気持ちの良い汗を流した一日となりました。



ハッピーハロウィンinしおじり

10月31日、塩尻市のハロウィンイベントに1・2年生がイベントスタッフとして参加しました。



いたずらスプーキーに扮した学生が子供たちを泣かせながらじゃんけんをしたり、お菓子を配ったり、イベントは大盛況に終わりました。

学生は個性的な衣装やメイクを楽しみ、地域の方々との交流もでき、貴重な体験となりました。



公開講座



10月22日、塩尻市市民交流センター(えんぱーく)にて、桔梗ヶ原病院 言語聴覚士 白沢英一郎先生をお迎えして、口腔機能向上～いつまでも、美味しく食べるために～についての公開講座を開催しました。咀嚼の8大効果や唾液の重要性等を学びました。講演はとても楽しく、最後は地域、学生の質問にも丁寧にご回答いただきました。



交通講話

12月3日、社会福祉法人平成会危機管理室 宮澤優一室長補佐を講師にお迎えし、日常の安全意識の持ち方、有事の際の対処法、さらにはSNSの扱いについてもご指導いただきました。



「映像を交え、面白く分かりやすい話なのに、死や人生を台無しにするほどの恐怖、またそうならないための知恵を学びました。」(学生の感想から)

編集後記

本年度もおかげ様で様々な催しを開催することができました。来年もさらなる努力を重ね、よりよい学校教育・地域貢献を目指していきたいと思っておりますので、皆様ご指導ご支援くださいますようお願い申し上げます。

【関連法人】

医療法人社団 敬仁会



グループホーム まほろば

社会福祉法人 平成会



介護老人福祉施設 松風

【姉妹校】

学校法人 松樹学園 信州リハビリテーション専門学校



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

〒399-0733

長野県塩尻市大門三番町4番24号

電話：0263-87-0015

Fax：0263-87-0016

http://www.shinshu-kaigo.ac.jp/